

令和6年度 第4回 浜松中部学園運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月10日（月） 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜松中部学園 会議室
- 3 出席委員 齋藤 正、村井 秀行、三浦 一哲、木村 勝、鈴木 康子、成瀬 仁代
大石 将和、鳥居 浩幸
- 4 欠席委員 藤野 直也、神村 佳宏、広瀬 恵子、三ツ井 りか
- 5 学校支援コーディネーター 櫻井 康人
- 6 学 校 岡本 雅康（校長）、星宮 ちさと（教頭）、袴田 暁広（教頭）
影山 直巳（主幹教諭）、井ノ口さおり（教務主任）
井上 佐矢子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 1人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 井上 佐矢子
- 9 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、村井委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
 - (1) 令和6年度学校関係者評価
 - (2) 令和7年度学校運営の基本方針
 - (3) 学校運営協議会自己評価
- 11 会議記録
司会から、委員総数12人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和6年度学校関係者評価

議長の指示により、主幹教諭から、別紙資料に基づき学校評価アンケートの結果・考察について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・児童と保護者で評価の開きがある項目がある。タブレットの使い方…1年生からよく使っている。校外学習等で商店に行き色々聞いてタブレットを使ってよくまとめている。タブレットの使い方のルールを守っているかの項目の結果に児童と保護者に20%の開きがある。この辺りはどうでしょうか。（村井委員）
- ・タブレットは学校にほとんど置いている。保護者の結果は家庭のIC機器も含めた回答になっているのでは。（岡本校長）
- ・パソコン・タブレットの操作は子どもの方が柔軟。家庭の方が自由度が高く、子どもたちの使い方に心配している家庭が多いのではないかと。（大石委員）
- ・子どもの方が大人よりも使いこなしている。フィルターや時間制限などの対策をしているが、知らないところでやっているかもしれない。大人もルールを決めて取り組まなければいけないという結果ではないかと。（鳥居委員）

- ・そのネットワーク環境に入っていくのが怖い時代だと思う。(大石委員)
- ・スマホの所持が多くなっているが、所持が低年齢化している。一言二言で送って心が伝わらずトラブルになることもある。便利ではあるが、正しい使い方をしないと人を傷つけることになってしまう。他校の人や知らない大人と繋がったりして気付いた時には大きな問題になることがあるため、ネットトラブルや情報モラルの指導をしていくことが大切。(岡本校長)
- ・色々な情報を流してくれていると思うが、「小中一貫校ならではの取り組み」に対する保護者の評価が低い。開校当初の思い、モデル校として成功させてほしいという思いがある。(村井委員)
- ・小中一貫校で良かったことは、中1ギャップがない等あるが、ならではの強みは少ないかもしれない。部活動や小学校で頑張ったことが繋がる次のステージがあるとよい。(鳥居委員)
- ・9年間の連続した教育システムを目指して進んできた。学年が上がるにつれて「夢や目標をもつ」というところが下がってしまっているということが不安。キッズチャレンジでせっかくいろいろなことを学んでいるはずなのに、下がってしまうのは寂しいと感じる。(三浦委員)
- ・中等部の子たちは他の学校の子と比べて優しいと感じる。上級生が1年生の世話をして思いやるところがよいと思う。(大石委員)
- ・そこはとても大切なところ。良いと感じられたらそれが一番。中学生が小学生を指導することができるのはよいところ。あいさつはまだまだ少ない印象。数年前より“知らない人には挨拶はしない”という風潮もある中で難しい面もあるが、今後も大切にしていきたい。(村井委員)

(2) 令和7年度学校運営の基本方針

議長の指示により、岡本校長から、別紙資料に基づき令和7年度学校運営の基本方針について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・個々に対して誉め言葉は大切。その子の心に残る。他の先生にも周知してほしい。(成瀬委員)
- ・愛情ある叱りは必要だと思う。先生達も気を遣う面があるかもしれないが、とても大切だと思う。怒るのではなく叱り。叱られると思ったら諭されたということがあった。それが相手にもきちんと伝わる。道德教育は昔と変わっている。「思いやり」「誠実」などを含んだ大切な学習の場。しっかりとやってもらいたい。(村井委員)
- ・今は9誉めて1叱るにしないと聞く耳をもってくれない。そこの加減が難しい。伝え方が難しいと思う。今の子には伝わらない現実がある。(大石委員)
- ・信頼関係が大切。この人に言われれば納得。と思われるような関係にしたい。(岡本校長)
- ・簡単に辞めてしまう選択をする。好きなことを見つけて辞めずに続けていくことが大切。大人も学んでいかなければいけない。(大石委員)

(3) 学校運営協議会自己評価

議長の指示により、齋藤委員から、別紙資料に基づき令和6年度学校運営協議会自己評価について説明があった。

その他報告事項等

星宮教頭より、夢育やらまいか事業に関する報告があった。

司会から、次回会議は令和7年5月14時00分から浜松中部学園会議室で開催する旨の報告があった。